

理学部学生のための

資格取得案内

理学部
COLLABORATION
FACULTY OF SCIENCE
熱帯生物圏研究センター
TROPICAL BIOSPHERE RESEARCH CENTER
機器分析センター
INSTRUMENTAL RESEARCH CENTER



琉球大学理学部

理学部学生のための
資格取得案内



< 学生諸君へ >

「資格取得案内」を活用してください



理学部長 矢ヶ崎克馬

理学部はこの度「資格取得案内」を作成しました。活用して頂きたいと思います。

学生諸君の卒業後の人生は、どんな仕事に就くかに大きく依存します。「どのような仕事に就けるか」を具体的に裏打ちできるひとつの要素が「資格」です。就職活動を受け身でなく、積極的に展開し、自分の望む職種を獲得するために、「資格取得案内」を有効に利用していただけると幸いです。

資格を取るには、大学の授業を受け身的に学習しているだけでは達成できません。卒業後の自分の生活の場をどのように設計するのか、自分で決めていかなければなりません。そのために自分の適性を客観的に判断して方向性を決

め、その分野に参入するための学習、資格取得や試験に合格するための学習を、目的意識を持って行えるようにしてもらいたいものです。

そもそも理学部では物事の本質を法則的に科学的に理解することと、その現実的応用の基礎を学んでいます。この学習はどんな職業についてもその基礎力を与えるもので、学生諸君は大いに自信を持って理学の学問を深めて頂きたいものです。現在は巨大資本が零細資本と「何の規制も無しに」競争できるメガコンペティションという「弱肉強食」がルールとなっています。卒業生の就職が困難なばかりでなく、労働条件も悪化しています。過労死、「サービス」残業等、“不正常的の常態化”が進み、不正を働く企業の横行も目立っています。こんな社会だからこそ、ひとり一人は真に価値のある生き方を志さないと道を見失う恐れがあります。理学部の学問的メリットをたっぷり吸収しながら、自分の人生を生き抜くための就職活動を意識的に展開できるよう、資格取得にも挑戦してください。

2005年9月

目次

(1) 本学部において取得可能な資格

- 1. 高等学校教諭免許状……………1
- 2. 中学校教諭免許状……………2
 - < 沖縄県教員採用試験 > ……3
- 3. 学芸員……………5
- 4. 毒物劇物取扱責任者(化学系)
……………7

(2) 本学部において受験資格が得られる資格

- 5. 危険物取扱者(化学系)……………8

(3) その他理学部学生に適した資格

- 6. 基本情報技術者……………9
- 7. 技術士・技術士補……………10
- 8. 弁理士……………13
- 9. アクチュアリー……………15
- 10. 測量士・測量士補……………17
- 11. 土地家屋調査士……………18
- 12. 地質調査技士……………19
- 13. 港湾海洋調査士……………21
- 14. 気象予報士……………23
- 15. 放射線取扱主任者……………25
- 16. 高圧ガス製造保安責任者……………26

- 17. 高圧ガス販売主任者……………27
- 18. 公害防止管理者……………28
- 19. 環境計量士……………29
- 20. 有機溶剤作業主任者……………30
- 21. 特定化学物質作業主任者……………31
- 22. 酸素欠乏危険作業主任者……………32
- 23. エネルギー管理士……………33
- 24. 作業環境測定士……………34
- 25. 衛生管理者……………35

(4) 資格取得者の声……………36

(5) 本リーフレットに関する注意……………45



中学校教育実習オリエンテーション

< 本学部において取得可能な資格 >

高等学校教諭免許状

資格の内容 (概要)

国家資格。高等学校教諭一種免許状
免許教科

数学...数理科学科

理科...物質地球科学科・海洋自然科学科

取得の条件

学士の学位を有し, 所定の教科に関する科目
20 単位以上 教職に関する科目 23 単位以上,
教科または教職に関する科目 16 単位以上を
修得した者。

単位修得法

理学部発行「教員免許状取得の手引」を参照
のこと。

高等学校教育実習(2 単位 2 週間)は原則
として母校を実習校として 4 年前期に行う。
(3 年次に各自実習校に依頼して内諾を得て
おくこと)

備考

実際に教員になるためには, 大学で免許状を
取得した後, 各地方自治体や私立学校が実施
する教員採用試験を受験する。沖縄県の公立
高校採用試験については 2 ページ後を参照。

< 本学部において取得可能な資格 >

中学校教諭免許状

資格の内容 (概要)

国家資格。中学校教諭一種免許状
免許教科

数学...数理科学科

理科...物質地球科学科・海洋自然科学科

取得の条件

学士の学位を有し, 所定の教科に関する科目
20 単位以上 教職に関する科目 31 単位以上,
教科または教職に関する科目 8 単位以上を
修得した者。

単位修得法

理学部発行「教員免許状取得の手引」を参照
のこと。

中学校教育実習(4 単位 3 週間)は原則と
して母校を実習校として 4 年前期に行う。(3
年次に各自実習校に依頼し内諾を得ておく
こと) 他に介護等の体験(7 日間)が必修。

備考

実際に教員になるためには, 大学で免許状を
取得した後, 各地方自治体や私立学校が実施
する教員採用試験を受験する。沖縄県の公立
中学校教員採用試験については次ページ参
照。

< 沖縄県教員採用試験 >

(沖縄県公立学校教員候補者選考試験
実施要項による)

正式名称

沖縄県公立学校教員候補者選考試験

受験資格

35 歳未満で普通免許状を有する者または
当該免許状取得見込みの者。

選考で重視する視点

人間性豊かで、教育者として使命感と児童生徒への深い愛情のある教員。教科等の専門的知識・技能を有し、分かる・楽しい教育活動ができる実践力を有する教員。豊かな体験と幅広い教養を身につけようとする姿勢と向上心があり、常に学び続ける教員。沖縄県の自然、歴史、文化に誇りを持ち、国際化・情報化社会に対応できる教員。

試験の方法・内容

< 第一次試験 >

一般教養 (自然科学・社会科学・人文科学
等)

教職教養 (教育法規・教育原理・教育心理・
学習指導・特別活動・道徳等)

専門教科等

(一般教養および教職教養はマーク方式、
専門教科等はマーク方式及び記述式)

< 第二次試験 > (第一次試験合格者のみ)

適性検査

論文試験

模擬授業

個人面接

パソコン実技

試験の日程

願書申し込み期間：5 月中旬。

第一次試験：7 月下旬，合否結果通知 8 月
上旬。

第二次試験：8 月下旬，合否結果通知 10 月
上旬。

試験地

第一次試験：那覇高校他。

第二次試験：コザ高校，I T 教育センター，
那覇高校。

問い合わせ先

沖縄県教育庁義務教育課。

〒900-8571 沖縄県那覇市泉崎一丁目 2 番
2 号

TEL 098-866-2741 FAX 098-866-2750

< 本学部において取得可能な資格 >

学芸員

資格の内容 (概要)

国家資格。博物館(美術館,資料館,動物園,植物園,水族館,天文館などを含む)で,資料の収集,保管,展示および調査研究などを行う専門職員になる資格。

取得の条件

学士の学位を有し,所定の必修科目 12 単位と選択科目 4 単位を修得した者。

試験の免除

理学部等において所定の単位を修得すれば試験免除の申請ができる。

単位修得法

学芸員希望者は「博物館学芸員に関する講義の履修手続き」を参照の上,科目履修に関する登録説明会(掲示板に注意)に必ず出席して登録許可を得ること。

< 必修科目 12 単位 >

博物館学概論(2 単位;登録許可者)

博物館学各論 I(2 単位;登録許可者)

博物館学各論 (2 単位;同 履修者)

(以上 6 単位は法文学部人間科学科提供)

博物館実習 I(1 単位;理学部提供)

博物館実習 (2 単位;法文学部提供;4

年次に博物館等にて集中実習)

(博物館実習 は同時履修のこと)

教育原理(1 単位)

視聴覚教育(1 単位)

社会教育概論(1 単位)

(以上 3 科目は教育学部から各科目とも 2 単位で提供されているため実際には 6 単位とることになる)

< 選択科目 (4 単位) >

文化史,美術史,考古学,民俗学(以上は法文学部と教育学部提供),物理学概論,化学概論,地学概論(以上は理学部提供),生物学 I(理学部提供共通教育科目)の中から 4 単位。

問い合わせ先

伊澤(理 424)

備考

修得した単位の生物学 I は共通教育科目に,他の科目は自由科目にそれぞれカウントされる。

< 本学部において取得可能な資格 >

毒物劇物取扱責任者

資格の内容（概要）

国家資格。「毒物及び劇物取締法」で指定されている毒物及び劇物を取り扱うことができる資格。

試験の日程

申請のみで資格が取れる。

申し込み先・問い合わせ先

各都道府県庁の薬務課主管課。

該当学科・系

化学系。

関連授業科目

化学全般。

備考（受験資格など）

薬剤師や、工業高校や大学等で応用化学を学んだ者は、無試験で資格認定される。

< 本学部において受験資格が得られる資格 >

危険物取扱者（甲種）

資格の内容（概要）

国家資格。一定量以上の危険物を貯蔵し、取り扱う製造所、貯蔵所、取扱所などで危険物の取扱ができる資格。

試験・申し込みの主な日程

年二回（前期 受け付け：5月頃，試験日：6月頃，後期 受付：10月頃，試験日：11月頃），受験料：5,000円。

試験地

沖縄他，全国各地。

申し込み先・問い合わせ先

財団法人 消防試験研究センター。

<http://www.shoubo-shiken.or.jp/>

該当学科・系

化学系。

関連授業科目

化学全般。

備考（受験資格など）

大学等において化学に関する学科等を卒業した者または、大学等において化学に関する授業科目を15単位以上修得した者に受験資格が与えられる。

基本情報技術者

資格の内容（概要）

国家資格。プログラマーやSEなど、プログラムの設計開発職を志す者にとって基本の資格。

試験・申し込みの主な日程

春期：申込み＝1月上旬から約1ヶ月。

試験＝4月第3日曜日。

秋期：申込み＝7月上旬から約1ヶ月。

試験＝10月第3日曜日。

試験地

那覇を含む全国60箇所。

申込み・問い合わせ先

情報処理技術者試験センター沖縄支部。

〒900-0033 那覇市久米2-2-10

那覇商工会議所ビル2階

<http://www.jitec.jp/>

TEL 098-862-2137 FAX 098-866-9834

該当学科・系

理学部全学科。

関連授業科目：情報科学演習。

備考

合格率は15.6%(2002年秋期)と意外に難関。

技術士・技術士補

資格の内容（概要）

国家資格。技術士とは、法定の登録を受け技術士の名称を用いて、科学技術に関する高等の専門的応用能力を必要とする事項についての計画、研究、設計、分析、試験、評価又はこれらに関する指導の業務を行う者で、技術士補は技術士を補助する者。

「技術士第一次試験」に合格すると、技術士補として登録でき、「技術士第二次試験」に合格すると、技術士として登録できる。

試験の日程

第一次試験：8月頃。

第二次試験（筆記試験）：10月頃。

第二次試験（口頭試験）：筆記試験合格者に対して12月上旬から中旬のあらかじめ受験者に通知する1日。

試験地

第一次試験および第二次の筆記試験は沖縄県を含む全国12都道府県。

第二次の口頭試験は東京。

問い合わせ先

日本技術士会 技術士試験センター。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-20

田中山ビル。

TEL 03-3459-1333 FAX 03-3459-1334

<http://www.engineer.or.jp/index.html>

該当学科・系

理学部全学科。

関連授業科目

理学部の全授業。

特記事項(備考)

第一次試験の受験資格は特になし。試験の一部免除あり。第一次試験は、以下の4種。

- (1) 基礎科目 (科学技術全般にわたる基礎知識を問う問題)
- (2) 適性科目 (技術士法の規定の遵守に関する適性を問う問題)
- (3) 共通科目 (技術士補として必要な共通の基礎知識を問う問題：数学，物理学，化学，生物学，地学のうち受験者があらかじめ選択する2科目)
- (4) 専門科目 (受験者があらかじめ選択する以下の20のうち、1技術部門に係る基礎知識及び専門知識を問う問題)
 1. 機械部門，2. 船舶・海洋部門，3. 航空・宇宙部門，4. 電気電子部門，5. 化学部門，6. 繊維部門，7. 金属部門，
 8. 資源工学部門，9. 建設部門，10. 上下水道部門，11. 衛生工学部門，12. 農業部門，13. 森林部門，14. 水産部門，

15. 経営工学部門，16. 情報工学部門，

17. 応用理学部門，18. 生物工学部門，

19. 環境部門，20.原子力・放射線。

第二次試験の受験資格は、技術士補となる資格（技術士第一次試験の合格者及びそれと同等と認められる者）を有し、一定期間以上の実務経験がある者。

筆記試験は技術部門ごとの必須科目及び選択科目を受験する。

技術部門には技術士第一次試験(技術士補)の20技術部門に加えて総合技術監理の21の技術部門がある。

弁理士

資格の内容（概要）

国家資格。商品に関する特許，実用新案，意匠・商標を特許庁に出願する手続きを代行する資格。

試験・申し込みの主な日程

申込み：4月上旬。

試験：

短答式筆記試験 = 5月中旬～下旬の1日。

論文式筆記試験 = 7月中旬の2日。

口述試験 = 10月上旬～中旬。

試験地

短答式筆記試験 = 仙台，東京，名古屋，大阪，福岡。

論文式筆記試験 = 東京，大阪。

口述試験 = 東京。

申込み・問い合わせ先

特許庁総務部秘書課弁理士室試験第一係。

〒100-8915 東京都千代田区霞が関3-4-3

<http://www.jpo.go.jp/>

TEL 03-3581-1101

該当学科・系

理学部全学科。

関連授業科目

理学部の全授業。

備考

2004年度弁理士最終合格者633名のうち，507名が理工系大学出身者。

< 試験内容 >

【短答式筆記試験】 工業所有権法。

【論文式筆記試験】

〔必須科目〕 工業所有権法の3科目。

〔選択科目〕 次の7科目から1科目。

地球工学：共通（基礎構造力学），選択（建築構造，土質工学ほか）。

機械工学：共通（基礎材料力学），選択（流体力学，熱力学，制御工学）。

物理学：共通（物理学），選択（制御工学，計測工学，光学ほか）。

情報通信工学：共通（情報理論），選択（通信工学，計算機工学ほか）。

応用化学：共通（化学），選択（有機化学，無機化学，材料工学ほか）。

バイオテクノロジー：共通（生物学），選択（薬学，環境化学ほか）。

弁理士の業務に関する法律：共通（民法），選択（民事訴訟法，著作権法，不正競争防止法および私的独占の禁止および公正取引の確保に関する法律，行政法，国際私法）。

【口述試験】 工業所有権法。

アクチュアリ

資格の内容（概要）

民間資格。生命保険，損害保険，年金等に関する数理業務の専門家。保険会社に選任が法的に義務づけられている保険計理人や，厚生年金基金制度に導入されている年金数理人となるための要件のひとつである。

試験の日程

12月下旬。

試験地

東京，大阪。

申込み・問い合わせ先

社団法人日本アクチュアリー会。

〒104-6002 東京都中央区晴海 1-8-10

晴海アイランド トリトンスクエア

オフィスタワー X 2階。

TEL 03-5548-6033 FAX 03-5548-3233

<http://www.actuaries.jp/index.html>

該当学科・系

数理科学科。

関連授業

数理科学科ではアクチュアリー受験のための授業科目・ゼミを多数開講している。また大学院にはアクチュアリーコース(数理ファイナンスコース)を設置している。数理科学科に問い合わせること。

備考

合格実績。平成 15 年度に大学院生 2 名，平成 16 年度に 4 年生 1 名，大学院生 1 名がそれぞれ 1 科目合格。

測量士・測量士補

資格の内容（概要）

国家資格。技術者として測量に従事するために必要な資格。

試験の日程：5月中旬。

試験地： 沖縄県を含む 14 都道府県。

申込み・問い合わせ先

日本測量協会 会員業務センター 刊行部。

〒112-0002 東京都文京区小石川 1-3-4

TEL 03-5684-3354 FAX 03-5684-3364

<http://www.jsurvey.jp/shikaku.htm>

国土地理院 総務課 試験登録係。

〒305-0811 茨城県つくば市北郷 1 番

TEL 029-864-8214 , 8248

<http://www.gsi.go.jp/LAW/SHIKEN/top.htm>

該当学科・系：数理科学科 ,物質地球科学科。

関連授業

測量に関する科目。

(<http://www.gsi.go.jp/LAW/SHIKEN/sikentoroku/beppyou.htm> 参照)。

備考

測量士になるためには 1 年以上の実務経験が必要。 資格保持者は土地家屋調査士の 2 次試験が免除される。

土地家屋調査士

資格の内容（概要）

国家資格。不動産に関する測量および法律の専門家。

試験の日程

8 月(一次)および 11 月(二次)。

試験地

沖縄を含む全国各地。

申込み・問い合わせ先

那覇地方法務局。

〒900-8544 那覇市樋川 1-15-15

那覇第 1 地方合同庁舎。

TEL 098-854-7950

該当学科・系

数理科学科 , 物質地球科学科。

関連授業科目

測量士・測量士補の項参照。

備考

法律に関する知識が必要。

地質調査技士

資格の内容（概略）

国家資格。ボーリング等地質調査及び関連する技術者の資格試験。土木工事や建設工事の前には必ず地質調査が行われるが、地盤の性質や状態の調査結果は施工の基礎となり、建築物の安全性や耐久性につながる。地質調査技士には、現場で実際に機械等の操作を行う「現場調査部門」と地質調査技術者として現場に関わる「現場技術・管理部門」及び「土壌・地下水汚染部門」がある。

試験の日程

7月上旬頃。

試験地

札幌，仙台，金沢，東京，名古屋，大阪，広島，高松，福岡，那覇。

問い合わせ先

(社)社団法人 全国地質調査業協会連合会。

TEL 03-3818-7411

FAX 03-3818-7474

<http://www.zenchi ren.or.jp/>

沖縄県地質調査業協会。

〒901-2132 浦添市伊祖 3-44-3

TEL 098-871-1508

該当学科・系

物質地球科学科・地学系，海洋自然科学科・化学系。

関連授業科目

岩石鉱物学入門，岩石鉱物成因論，層序学，測量学，地史学など。

備考

受験資格として実務経験が必要。択一式試験，記述式問題，口頭試験などがある。

港湾海洋調査士

資格の内容（概略）

国家資格。港湾及び港湾海岸に係る調査に関し、業務全体の調査計画、指揮監督等を行う管理技術者、照査技術者として必要な技術レベルを認定する。

次の5つの技術部門がある。

- (1) 深浅測量（水域の施設の完成、維持・管理に伴う水域の測量を除く）
- (2) 危険物探査（磁気探査、潜水探査に限る）
- (3) 土質・地質調査（土質・音波探査に限る）
- (4) 環境調査（水質・底質、生物調査、流況調査に限る）
- (5) 気象・海象調査（気象、波浪、潮位、流況調査に限る）

試験の日程

10月下旬頃。

試験地

東京都。

問い合わせ先

社団法人 海洋調査協会。

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2丁目8番6号 日本橋ビル3F

TEL 03-5640-0373 FAX 03-5640-0375

<http://www.jamsa.or.jp/index.htm>

該当学科・系

物質地球科学科・地学系、海洋自然科学

科・生物系。

関連授業科目

測量学、沿岸海洋学、大気物理学など。

備考

受験資格：大学卒 実務経験5年以上、その他実務経験8年以上。

試験方法・内容：一次共通試験、一次専門試験、二次筆記、二次口答試問。

気象予報士

学科（予報業務に関する一般知識と専門知識）と実技試験。

資格の内容（概略）

国家資格。気象予報士とは、気象の予想を行う専門家として、予報業務許可事業者の業務のうち、予想の業務を担当することを認められる資格。予想の業務とは、予報業務のうちの現象の予想をすること。

試験の日程

年に1回以上実施。平成17年度の場合、8月28日と1月29日の2回実施予定。

試験地

札幌，仙台，東京，大阪，福岡，那覇。

問い合わせ先

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町3-17 東ネンビル
(財)気象業務支援センター試験部。

TEL 03-5281-3664

FAX 03-5281-0448

siken@jmbsec.or.jp

<http://www.jmbsec.or.jp/>

該当学科・系

物質地球科学科・地学系。

関連授業科目

地球科学，大気物理学，地球流体力学，メソ気象概論など。

備考

受験資格は特になし。

放射線取扱主任者

(一種，二種)

資格の内容（概要）

国家資格。放射性同位元素や放射線発生装置の取扱いに関して、放射線障害の防止を旨として管理・監督を行う資格。

試験・申し込みの主な日程

試験：8月下旬，願書申込：5月上旬～6月中旬，受験料：14,800(第1種)，9,900(第2種)。

試験地

札幌，仙台，東京，名古屋，大阪，福岡。

申し込み先・問い合わせ先

(財)原子力安全技術センター指定事業部
放射線安全部 (TEL 03-3814-7480)。

<http://www.nustec.or.jp>

該当学科・系

物理系，化学系。

関連授業科目

物理実験，放射化学。

備考（受験資格など）

年齢，学歴，実務経験に関係なく誰でも受験可能。

高圧ガス製造保安責任者

資格の内容（概要）

国家資格。高圧ガスによる災害を防止し，公共の安全を守るための資格。以下の9種に分かれている。

(1) 甲種化学 (2) 甲種機械 (3) 乙種化学 (4) 乙種機械 (5) 丙種化学 (液化石油) (6) 丙種化学 (特別試験科目) (7) 第一種冷凍機械 (8) 第二種冷凍機械 (9) 第三種冷凍機械。

試験・申し込みの主な日程

願書申し込み：8月下旬～9月上旬。

試験地

沖縄県他，全国9箇所を受験可能。

申し込み先・問い合わせ先

沖縄県試験事務所 沖縄産業支援センター
(社) 沖縄県高圧ガス保安協会内。

TEL 098-858-9562

<http://www.khk.or.jp>

該当学科・系

物理系，化学系。

関連授業科目

熱力学，化学全般。

備考（受験資格など）

年齢，経験，学歴などに関係なく誰でも受験できる。

高圧ガス販売主任者

(第二種販売主任者)

資格の内容(概要)

国家資格。高圧ガスの販売事業部において、保安の知識と経験を持ち、高圧ガス販売主任者になるための資格。

試験・申し込みの主な日程

願書申し込み：8月下旬～9月上旬。受験料：6,700円。

試験地

沖縄県他、全国9箇所受験可能。

申し込み先・問い合わせ先

沖縄県試験事務所 沖縄産業支援センター
(社)沖縄県高圧ガス保安協会内。

TEL 098-858-9562

<http://www.khk.or.jp>

該当学科・系

化学系。

関連授業科目

化学全般。

備考(受験資格など)

年齢、経験、学歴などに関係なく誰でも受験できる。

公害防止管理者

(水質1～3種；大気1～3種)

資格の内容(概要)

国家資格。工場における公害防止体制を整備するため、企業内部において、原材料の検査や測定・公害物質を規制値内に管理する資格。

試験・申し込みの主な日程

願書配布：7月ごろ、試験日：9月から10月、受験料：6,400～6,800円。

試験地

那覇市を含む全国9箇所。

申し込み先・問い合わせ先

(社)産業環境管理協会 沖縄分室。

TEL 098-833-1349

〒900 那覇市壺川155-3

(社)沖縄県工業連合会内。

該当学科・系

化学系。

関連授業科目

化学全般。

備考(受験資格など)

受験資格なし。だれでも受験できる。

環境計量士

(一般・濃度関係・振動騒音)

資格の内容(概要)

国家資格。濃度,騒音,振動などの環境に関わる計量器の整備,正確な計量の保持,計量方法の改善,その他適正な計量の実施を確保することができる資格。

試験・申し込みの主な日程

願書配布:10月ごろ,願書受付:10月ごろ,試験日:3月,受験料:8,500円。

試験地

那覇市を含む全国9箇所。

申し込み先・問い合わせ先

沖縄総合事務局経済産業部商務通商課。

那覇市前島2-21-7 カサセン沖縄ビル。

TEL 098-864-2321(直)

<http://www.jemca.or.jp/info/>

該当学科・系

化学系。

関連授業科目

化学全般。

備考(受験資格など)

受験資格なし。だれでも受験できる。

有機溶剤作業主任者

資格の内容(概要)

国家資格。船舶,トンネルなどの通風の悪い場所では有機溶剤の製造や取扱い作業を行う場合に,その指揮・監督を担当する。

試験・申し込みの主な日程

所定の講習(2日間)を受ければ,資格が取得できる。講習の日程は,毎月1回程度。

講習料:約9,000円。

試験地

試験なし。

申し込み先・問い合わせ先

(社)東京労働基準協会連合会または,各都道府県労働局,(社)沖縄県労働基準協会(TEL 098-868-2826)。

<http://www.touki ren.or.jp>

該当学科・系

化学系。

関連授業科目

有機化学。

備考(受験資格など)

18歳以上の者であれば,受験できる。実務経験は不要。

特定化学物質作業主任者

資格の内容（概要）

国家資格。特定化学物質などを製造，または取り扱う作業において，その指揮・監督などを行う。

試験・申し込みの主な日程

所定の講習（2日間）を受ければ，資格が取得できる。講習の日程は，毎月1回程度。

講習料：約9,000円。

試験地

試験なし。

申し込み先・問い合わせ先

（社）東京労働基準協会連合会または，各都道府県労働局，（社）沖縄県労働基準協会（TEL 098-868-2826）

<http://www.toukiren.or.jp>

該当学科・系

化学系。

関連授業科目

化学全般。

備考（受験資格など）

18歳以上の者であれば，受験できる。実務経験は不要。

酸素欠乏危険作業主任者

（酸素欠乏・硫化水素）

資格の内容（概要）

国家資格。下水道の敷設やトンネル開削などで，酸欠や硫化水素による災害が起きない作業環境を確保するための資格。資格は，酸素欠乏，硫化水素，酸素欠乏・硫化水素の3つに区分される。

試験・申し込みの主な日程

講習で取得できる。講習料：6,000円～12,000円（テキスト代2,500円別）。

試験地

試験は，なし。

申し込み先・問い合わせ先

各都道府県労働局，労働基準監督署，各指定教習機関，（財）日本産業技能教習協会。

該当学科・系

化学系。

関連授業科目

化学全般。

備考（受験資格など）

年齢，学歴，実務経験など関係なく誰でも受講できる。

エネルギー管理士

資格の内容（概要）

国家資格。大口のエネルギーを使用する工場などで、燃料や電気の消費設備を維持し、使用方法の改善を図るエネルギー管理者の資格。

試験・申し込みの主な日程

試験は、8月上旬 研修：12月中旬の7日間。受験料：18,600円，研修費：70,000円。

試験地

試験：那覇市および全国10箇所。

研修：仙台市，東京都，名古屋市，大阪府，広島市，福岡市。

申し込み先・問い合わせ先

（財）省エネルギーセンター試験部。

TEL 03-5543-3019

<http://www.eccj.or.jp/>

該当学科・系

理学部全学科。

関連授業科目

理学部提供科目全般。

備考（受験資格など）

特に制限はない。但し，試験合格者は免状申請までに1年以上の実務経験が必要。

作業環境測定士

資格の内容（概要）

国家資格。指定作業場について作業環境測定の業務を行うことができる資格。

試験・申し込みの主な日程

願書受付：5月から6月，試験：8月。受験料：10,600～27,100円。

試験地

福岡県久留米市他全国8箇所（沖縄には試験会場なし）。

申し込み先・問い合わせ先

（社）沖縄県労働基準協会。

那覇市港町2-5-1

沖縄県トラック研修会館 098(868)2826

<http://www.exam.or.jp/index.htm>

該当学科・系

理学部全般。

関連授業科目

理学部提供科目全般。

備考（受験資格など）

大学又は高専において理科系統の正規の課程を修めて卒業した者で，その後1年以上労働衛生の実務に従事した経験を有するもの。

衛生管理者

資格の内容（概要）

国家資格。常時 50 名以上の労働者を使用する事業所において、健康障害者の発見および処置、作業環境の調査、作業条件や施設の改善などを行う資格。第 1 種と第 2 種にわかれており、第 2 種は業種が限られている。

試験・申し込みの主な日程

地区により毎月 1～3 回。受験料：8,300 円。

試験地

全国 7 地区の安全衛生技術センター（北海道，宮城県，千葉県，愛知県，兵庫県，広島県，福岡県）。

申し込み先・問い合わせ先

全国 7 地区の安全衛生技術センター。

<http://www.exam.or.jp/>

該当学科・系

理学部全般。

関連授業科目

理学部提供科目全般。

備考（受験資格など）

大学・高専の卒業生で 1 年以上の労働衛生に関する実務経験者。

資格取得者の声

次ページからは、資格を取得した先輩（一部在学生）の 7 名の方々に、アンケート形式で寄せていただいた貴重な体験談です。



球陽橋から見た理学部

資格取得者の声

川上 良一（かわかみ りょういち）

（数理科学科 2002年3月卒業。数理科学専攻 2004年3月修了。）

勤務先：大同火災海上保険株式会社

取得した資格：アクチュアリー1次試験（数学）
（現在研究会員）

取得した理由：大学、大学院で数学を専攻しており、将来学んだことを生かしたかった。現在は研究会員ですが将来は準会員、正会員になりたいと考えています。アクチュアリーとは主に保険会社で用いる資格で、保険料の算出などを主な仕事とする専門的な職業です。

現在の仕事との関係：現在はまだ研究会員ではありませんが、商品企画部門に属していて、保険商品の設計、保険料の見直しなどの業務を行っています。また、保険会社では非常に数理的感覚を要求されるので、学んできたことが非常に役立っています。

資格を取得してよかったこと：保険業務に直結する資格であったので、入社してからも非常に役立っています。また、これまで勉強してきたことを生かすことができるのも魅力の一つです。

後輩へのアドバイス：まずはどのような職業に就きたいかを考えるべきだと思います。その上

で、その分野に適した資格を目指すのがよいと思います。ただし、資格を取ることによって興味が湧くこともありますので、常に幅広い視点で物事を見ることが大事であると思います。

資格取得者の声

具志堅 望（ぐしけん のぞみ）

（物理学科 1998年3月卒業）

勤務先：琉球エアーコミューター（株）

取得した資格：航空無線通信士

取得した理由：航空業界を目指す上で、何らかの役に立つと考えたから。

現在の仕事との関係：業務上、飛行する航空機との無線通信をするのに必要な資格だった。

資格を取得してよかったこと：入社後、すぐに取得させられるのがこの資格で、既に取得していた私は、その他の勉強に専念出来たことが良かった。

後輩へのアドバイス：

学生の間で取得できる資格は沢山あると思います。将来の目標が決まっている方は、その職種で必要と思われる資格を、まだ模索中の方は、自分が興味ある資格にチャレンジしてみるのもいいと思います。就職の際にも自分をアピール出来る材料の一つとなるのは確実です。頑張ってください！

資格取得者の声

森山文基（もりやま ふみき）

（海洋自然科学科化学系 2005年3月卒業）

勤務先：琉球大学遺伝子実験センター

取得した資格：

第1種放射線取扱主任者

第1種水質関係公害防止管理者

エックス線作業主任者

ガンマ線透過写真撮影作業主任者

取得した理由：就活する際は、コネがないかぎり全く知らない人を相手にするわけで、1度の面接では人柄、能力など思い通りにアピールするのは難しい。資格なら、そういったときに確実にアピールできるから。

現在の仕事との関係：現在、遺伝子実験センターの放射線取扱主任者に選任されている。

資格を取得してよかったこと：遺伝子実験センターで職員として働けていること。

後輩へのアドバイス：化学系なら環境計量士を目指すのがいいと思います。誰でもとれるような資格をたくさん持っていてあまりアピールにならないと思うので、ネットなどで調べて、合格率が低い資格をねらったらいいと思います。がんばって下さい。

資格取得者の声

山本 寿夫（やまもと としお）

（海洋自然科学科化学系 2006年3月卒業

見込み）

勤務先：4年次に在学中

取得した資格：環境計量士（濃度）

取得した理由：化学の分野では「正確な計量」ということが、基本だけとても大切なことだと教わりました。例えば、論文を書いたとしても、データに信頼性がないと、誰もその論文を見ないでしょう。私はこの「正確な計量」に一步でも近づけたらと思い、この資格をとろうと思いました。

現在の仕事との関係：在学中なので、なし。

資格を取得してよかったこと：どんな資格でも、持っていれば何かしらの自信になると思いました。

後輩へのアドバイス：就職活動は、3年次の夏休みからはじまります（内地の場合）。沖縄でも一番早い沖縄電力が3年次の12月エントリー開始です。ノアの箱船はいつ作られたのかを考え、早めの準備をおすすめします。後、環境計量士の試験は、3月です。3年次でこの資格を取ろうとすると、就職活動とかぶるので、気を付けてください。

資格取得者の声

友寄 喜貴（ともよせ のぶたか）

（理学研究科化学専攻 1996年3月修了）

勤務先：沖縄県衛生環境研究所 大気室

取得した資格：甲種危険物取扱者

取得した理由：就職活動に有利かと思った。

現在の仕事との関係：直接的には必要ないが、知識としては役立っている。

資格を取得してよかったこと：仕事上、危険物を扱う場合もあるが、そのときの知識として役立っている。

後輩へのアドバイス：直接的に役立つかはわかりませんが、色々な場面で知識として活用できると思います。

資格取得者の声

宮城保大（みやぎ やすひろ）

（化学科 1994年3月卒業）

勤務先：株式会社南西環境研究所 営業企画室

取得した資格：

公害防止管理者水質関係第1種

臭気判定士

環境計量士（濃度関係）

技術士補（環境部門）

取得した理由：会社に有資格者がいなければな

らない資格や、スキルアップのため、より高いレベルの資格取得のため等、取得理由は様々です。特に民間業者では資格者数が会社の評価につながることも多く、資格取得は必須であると思います。

現在の仕事との関係：仕事に直結している資格が多いです。

資格を取得してよかったこと：資格にもよりますが、資格手当が付きます。また、会社での地位が上がる場合がありますのでそれに伴って給与も上がります。反面、責任も重くなります。

後輩へのアドバイス：資格をもっていれば良いというものではないですが、就職の際にはそういったこと（資格を取ろうという意欲や向上心）が評価の対象になりますので、就職に有利になります。また、日頃感じていることですが、経済成長期と違ってこれからの時代は広い視野を持った人材が求められているため、仕事以外の資格や趣味など様々な経験や能力を身に付けることが必要だと思います。

資格取得者の声

毛利貴広（もうり たかひろ）

（化学科 1992年3月卒業）

勤務先：月星化成株式会社 化成品事業部

取得した資格：

公害防止管理者（水質1種）

危険物取扱主任者（甲種）

工業標準化品質管理推進責任者

特別管理産業廃棄物管理責任者

取得した理由：上司からの要請（工場に免許取得者が必要なため）。

現在の仕事との関係：直接にはほとんど関係ないですが、一般的な知識として業務には役に立ってます。

資格を取得してよかったこと：奨励金が貰えたこと。知識が増えたこと。

後輩へのアドバイス：私の会社では「奨励資格一覧」というものがあり、社員に取得を奨励しています。業務上必要な場合は、上司から取得を要請されることもありますが、基本的に個人の自主性に任せているという感じです。「奨励資格一覧」では各資格に応じて奨励金と点数が設けられており、資格を取得すると奨励金が貰えますし、点数は人事査定で加点されるようです。私の会社は製造メーカーということもあり、奨励資格には工場管理的なものが多くなって

います。私が取得しているもの以外に、作業環境測定士・衛生管理者などが奨励されています。その他語学関連がありますが、現在の製造メーカーでは英語より中国語や韓国語のほうが重宝されていると思います。資格は持っていても損はないですし、就職にも間違いなく有利に働くとおもいます。資格によっては年々試験の内容が難しくなったり、合格率が下がったりと、取得が難しくなっているものもあるようなので、できたら脳細胞の活発な？学生の時に取得するのがBESTだと思います。また、「公害防止管理者と衛生管理者を持っていると、作業環境測定士試験の一部が免除される」とか資格によっては「実務経験が×年以上必要」とかいうのがあったりするので、取得条件を熟知して、取得する順番についてもよく考えて決めたほうがいいかと思います。

<本リーフレットに関する注意>

ここに掲載された資格は本学部学生のために取得の案内をするものです。本学部が取得を保証するものではありません。

各種資格試験の内容・日程・試験地などはあくまでも従来の実例に基づく参考です。変更されることがありますので実際に受験する場合は必ず主催者に確認して下さい。これらのくいちがいによって生じた損害には本学部は一切責任を持ちません。

資格に関する詳しいガイドブックが各社から年度別に出版されています。「資格 取り方・選び方全ガイド」などというタイトルですから、参考にするるとよいでしょう。

表紙・裏表紙の写真

表紙は中学校教育実習オリエンテーションを前に緊張する実習生。(2005年7月撮影)

裏表紙は理学部敷地内のブッソウゲ(ハイビスカス)を訪れたシロオビアゲハ。沖縄を代表する花と蝶。(2005年7月撮影)



理学部学生のための

資格取得案内

2005年9月発行

編集発行 琉球大学理学部

〒903-0213

沖縄県西原町千原1

TEL 098-895-8595

作成委員 佃 修一 細谷将彦

久木幸治 新垣雄光

樺島辰磨 上原 剛

事務補佐 島袋一良 平良雅彦

渡嘉敷由紀子

印刷 株式会社 国際印刷

所在地 〒903-0213

沖縄県那覇市宮城1丁目13番2号

TEL (098)857-3385

FAX (098)857-3892